

# 令和6年能登半島地震 のと里山海道 能登大橋付近の盛土復旧

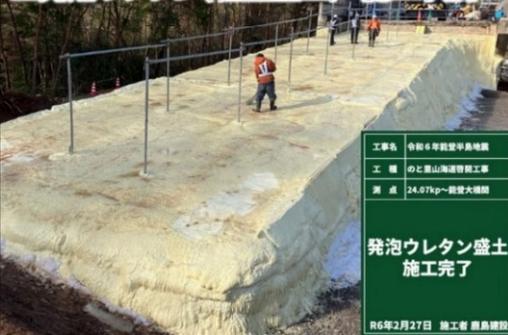
○能登大橋では、橋台の背面の盛土が崩壊し、大きな段差が発生しました。橋の通行を早期に再開するためには、原位置で通行を確保する必要がありました。

○そのため、軽量で早期施工が可能な「発砲ウレタン(軽量盛土)」+「鋼管杭による土留」を採用することで、大規模崩壊箇所での迅速な盛土復旧と、被災した能登大橋本体への負担軽減を図り、原位置での通行を確保しました。

■背面盛土 被災状況



■発砲ウレタン(軽量盛土) 施工状況



■鋼管杭による土留



■鋼管杭施工状況(ジャイロプレス工法)

